

女性医師支援に力を入れています

富山県では、女性医師が働きやすい環境を作るために、様々な取り組みを行っています。女性医師の勤務環境を整えることによって、男女ともにワークライフバランスを実践していただけるよう、支援しています。

- ♥**相談窓口の設置** 子育てや介護、勤務環境や転職などに関する相談窓口を富山県医師会に設置しています。困ったことが起きたときに、悩みを相談できます。
- ♥**勤務環境の整備** 女性医師の勤務環境改善に取り組む病院に対して助成を行い、県内病院の勤務環境改善を促進します。
- ♥**講演会・交流会** 働きながらの子育て等について、講演会・交流会を開催し、女性医師と学生の皆さんが気軽に話せる場をつくります。「出産時期はいつがいいか」「子育てに周囲の理解・協力は得られるのか」「医師同士の結婚ってどうなの」など、気になることを質問できます。
男子学生の方のご参加もお待ちしております！
- ♥**院内保育所の整備** 院内保育所を設置している病院に対して、運営費の補助を行い、育児支援をしています。富山県では26病院が院内保育所を設置しています（平成22年度）。利用者は、女性医師や看護師が多いですが、男性医師も利用しています。

富山県内の臨床研修病院

病 院 名	所在地	初期 研修	後期 研修	TEL
黒部市民病院	黒部市 三日市 1108-1	○	○	0765-54-2211
富山県立中央病院	富山市 西長江 2-2-78	○	○	076-424-1531
富山市民病院	富山市 今泉北部町 2-1	○	○	076-422-1112
富山大学附属病院	富山市 杉谷 2630	○	○	076-434-2281
富山赤十字病院	富山市 牛島本町 2-1-58	○	—	076-433-2222
富山県済生会 富山病院	富山市 楠木 33-1	○	○	076-437-1111
高岡市民病院	高岡市 宝町 4-1	○	○	0766-23-0204
富山県済生会 高岡病院	高岡市 二塚 387-1	○	—	0766-21-0570
富山県厚生連 高岡病院	高岡市 永楽町 5-10	○	○	0766-21-3930
金沢医科大学 氷見市民病院	氷見市 幸町 31-9	○	—	0766-74-1900
市立砺波総合病院	砺波市 新富町 1-61	○	—	0763-32-3320
南砺市民病院	南砺市 井波 938	○	○	0763-82-1475

病院見学・奨励事業のご案内

富山県臨床研修病院連絡協議会では、富山県の臨床研修病院に病院見学・採用試験に来られる県外大学の医学生（4～6年生）の皆さんに、旅費の一部を支給いたします。

1. 対象

県外大学に在籍する医学生（4～6年生）

2. 支給条件

2ヶ所以上の臨床研修病院を見学又は受験すること
（同一病院の見学と受験に対しては、支給しません。）
医学生1人につき、2回まで申請できます。



3. 支給額

大学の所在地に応じて、旅費の一部を支給

大学の所在地	奨励金支給額
石川県	5千円
福井県、新潟県、岐阜県、長野県	1万円
関東地方、近畿地方、その他中部地方	2万円
その他の地域	3万円



夏休みを利用して、ぜひ病院
見学に来てください！！

4. 対象期間

平成23年4月～平成24年3月31日までにいった見学・受験

5. 手続

①病院への見学・受験の申込み

医学生の皆さんが、各自で行ってください。

②病院見学・受験

見学・受験の際に、「証明書」を「病院見学・受験担当者」に
記入してもらってください。

③必要書類の提出 ※平成24年4月10日必着※

次の書類を富山県臨床研修病院連絡協議会へ郵送で送ってください。

★請求書 ★証明書（2病院分） ★学生証のコピー



※詳細や必要書類は、富山県のホームページでご確認ください。

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1204/kj00010525.html



研修医からのメッセージ



氏名 藤田 真司
高岡市民病院 2年目研修医 (現在、泌尿器科研修中)
出身大学 富山大学

初期研修医が学ぶべきことにひとつにプライマリーケアが挙げられると思います。当院での救急当直は月4回で、内科系 or 外科系の先生とマンツーマンで、1次救急レベルの walkin 患者から2次救急レベルの搬送患者まで対応に当たります。日による差が激しいですが大体平均すると walkin 患者10人、救急車5台くらいを1回の当直で経験できます。結構忙しいですが、救急に苦手意識のある人(私含)でも十分にやっていけて、common disease をしっかり学べます。3次救急も厚生連高岡病院で1ヶ月経験することが出来ます。

日頃の研修については一概には言えないのですが、個性豊かな先生方がいて楽しくやっています。アフター5には自己学習や勉強会などに当てる時間が豊富にある点もいいと思います。

1日だけの病院見学では伝わりづらいかもしれませんが、先生方同士の雰囲気もよく病院も綺麗で、研修医に優しい病院だと思います。研修医の人数も現在7人と丁度良い人数だと思います。興味を持たれた方は是非一度、病院見学にお越しください。実際の研修医の声を生で聞くのは、病院選びの良い指標になると思います。

指導医のメッセージ

氏名 一柳 健次 高岡市民病院 核医学科 医療局長(教育研修担当)

高岡市民病院は、平成23年に創立60周年を迎え、高岡医療圏33万人の基幹病院として地域医療を支えています。生命の尊重と人間愛を基本に、心がかよいあう医療を基本理念とし、急性期医療を担う病院として、地域がん診療連携拠点病院として、地域完結型の医療が提供できるよう努めています。現在、前期研修医は7名で(管理型3名、協力型4名)、日々元気に働いています。各科の垣根が低く(すぐ相談できる)、働き易い当院で、実力のある臨床医となるために、一緒に過ごしませんか。写真は、「万葉線のイベント」での一コマですが、このように楽しいリクリエーションが待っています。

(澤崎院長コメント)



いずれ皆さんは、それぞれの適性に合った専門医コースに進むこととなります。その前段階の初期研修2年間はゆっくり周りを観察し、将来を決める時期にしてください。当院はそれが可能です。皆さんを守り、育てます。



研修医からのメッセージ



氏名 津田 岳志

富山県済生会高岡病院 2年目研修医 (現在、富山大学病院)

出身大学 富山大学



済生会高岡病院は富山県西部、高岡市にある総合病院です。研修指定病院としてはそれほど大きな病院ではありませんが、外来や病棟業務を通して豊富な症例を体験することができ、いわゆる common disease は一通り経験することができます。また、高岡市二次救急輪番病院の一角も担っており、救急指定日のうち一人月3-4回研修医も当直に入ります。救急外来は次々に患者さんが受診されるときもあり大変ですが、原則的に上級医の先生と一緒に当直に入るので不安なときはいつでも相談でき、とても勉強になります。また、診療以外にもカンファレンス、症例検討会、CPCなど勉強の場も豊富にあります。より大きな病院と比較して例年受け入れている研修医の数は多くはありませんが、その分研修内容に関してはきめ細やかに対応していただけるので、自分の理想的な研修を送ることができます。各科の先生方はもちろん、コメディカルの方々とも顔が見える関係なので、ちょっとした質問や依頼もしやすいところもいいところだと思います。また、研修医に対しても色々気を配っていただけるのでとても研修しやすいと思います。院内の旅行や懇親会なども多数あり、和気藹々とした雰囲気です。また、研修環境も充実しています。8階にある研修医室にはロッカー、机、本棚はもちろんソファ、仮眠用ベッド、テレビ、電子レンジなどもあり、落ち着いて過ごすことができます。インターネット環境も整備されており、文献検索も可能です。病院の隣には遅くまで営業している巨大ショッピングモールもあるので、帰り際の買い物も便利です。これから臨床研修を始められる先生方も、ぜひ済生会高岡病院で実りのある初期臨床研修生活を送ることをお勧めします。

指導医のメッセージ



氏名 松井 一裕

富山県済生会高岡病院 医療局長 臨床研修部長

当院は高岡医療圏救急輪番病院の中では小規模病院です。しかし、「小さくてもキラリと光る病院」をモットーに、患者さんへのサービス向上を目指して、日々努力をしています。初期臨床研修において経験すべきほとんどの疾病は、若くて意欲のある指導医の下で充足可能です。院内研修で不足の分野に関しては全国の済生会グループ病院間の交流により、理解を深めることが可能です。

初期研修を目指す皆さん、是非当院の臨床研修プログラムに参加してください！



研修医からのメッセージ



氏名 野嶋 孝則
厚生連高岡病院 1年目研修医（現在、麻酔科研修中）
出身大学 金沢大学
趣味 登山、バイクツーリング、写真

厚生連高岡病院の管理型で研修を受けさせて頂いている一年目の野嶋です。私は学生の頃から救急は医学の原点であり、急性期の診断と初期治療が出来る様な医者になりたいと考えておりました。五年生のBSLで見学に来た厚生連高岡病院は富山県西部の三次救急を担っている地域の中心病院であり、自分の目指す職場である事、また対応して頂いた廣田先生のお人柄に惚れ込み、研修を受けるならこの病院とその場で決心し、そのまま基幹型で初期研修を受けさせて頂いております。

ただ今、その志望する麻酔科を廻っております。私は学生時代から優秀でなく、ある程度予想はしていたものの、それ以上に何も知らず何も出来ず、頑張っているつもりなのですが却って事態を悪化させる結果となり迷惑ばかりかけてしまっています。その様な時は勿論怒られますが、それにも拘わらず上の先生方は辛抱強く指導を続けて下さいます。私以外の研修医に対しても上の先生方の指導は非常に熱心で、厳しい中にも研修医に対する愛情を感じさせます。

臨床医になりたくて再受験で医者となった私は医者として残された時間が短く、自分の働きたい職場という事で厚生連高岡病院を選択しましたが、大学医局に属さない事が良いか悪いか今の段階では判りません。また一つの病院しか知らないという事も問題があると思い、いずれ一度は厚生連を離れる必要性はあると考えています。しかし上の先生方の層の厚さとしっかりとした指導、多くの研修医が集い、事務の方々の常に親切な対応など研修病院としての厚生連高岡病院の魅力は沢山あり、もし許されるのであれば後期も厚生連で研修を受けさせて頂き、周りの先生方の様な実力のある臨床医になりたいと考えております。

指導医のメッセージ

氏名 山本 正和 厚生連高岡病院 内科 職名:内科診療部長(卒後臨床研修委員長)

厚生連高岡病院は、22の診療科、三つのセンターと看護学校をもつ富山県西部地区では最も大きく、患者さまからの信頼も厚い病院です。

初期臨床研修医制度が始まったころ当院の研修医はベッド数に比較して少人数でした。しかし、最近はずきげ研修が増え、今年の研修医は19名になり、後期研修医を含め2重・3重の屋根瓦方式で研修が出来るようになりました。

研修医アンケートでみる当院の研修の強みは、①充実した救急部門(3次救急病院)、②腫瘍内科をコアとした研修(癌薬物療法専門医がいる)、③症例数の多い外科、④丁寧な指導で評判の放射線科、⑤診療科が多い、⑥研修プログラムの自由度が高い(変更が容易)などです。過去の管理型研修医4名のうち3名が当院で後期研修を行い、当院で初期研修した研修医が後期研修先として希望することも特徴の一つです。最近、研修医給与の増額、時間外支給の開始など研修医の待遇を改善し、ミニレクチャーの定期開催など研修内容も充実しました。さらに指導医手当を支給するなど指導医体制の強化も行いました。このように着実に当院の臨床研修の環境は整ってきています。

研修医が増えたことで医局はもとより、病院全体も活気づいていますので、あとは皆さんにやる気を持って来ていただくだけです。意欲ある皆さんの当院での研修を期待しています。





研修医からのメッセージ



氏名： 中嶋 和仙
金沢医科大学氷見市民病院
1年目研修医(現在、内科研修中)
出身大学： 金沢医科大学



皆さんこんにちは。研修が始まってはや4ヶ月が経ちました。

金沢医科大学氷見市民病院では現在研修医1年目が4人、2年目が2人で、みんな仲良く研修に励んでいます。金沢医科大学氷見市民病院での研修の特徴としては臨床の現場における実践的な医療をより早く身につけられることではないでしょうか。まだ僕は3ヶ月目ですが中心静脈カテーテル挿入術を指導医のもとすでに10例ほど経験させていただきました。他にも胸腔ドレーン挿入や胸腔穿刺などいろいろな手技を早い段階から経験させてくれます。また臨床研修センターでは上級医の先生方をまじえて皆で知識の共有や手技の再確認をしています。仕事後は上の先生方にご飯や飲み連れて行って頂く機会も多く、プライベートのことなどを語りながら楽しい時間を過ごしています。

皆さんもぜひ楽しく色々な経験、勉強できる金沢医科大学氷見市民病院の雰囲気を感じにきてみてはどうでしょうか。

指導医のメッセージ

金沢医科大学氷見市民病院 副院長(一般消化器外科長) 臨床研修センター長 斎藤 人志

当院における研修の特徴は外科学が必須化されていること、高齢者を対象とする地域僻地医療が充実していること、そして大学病院と市中病院の2つの特徴をかねそなえていることでもあります。また、各診療科間に全く隔たりが無く、とても仲が良いのが特徴で、例えば内科から外科へ、あるいは外科から内科へなど各診療科間における患者さんの流れも非常に短時間でスムーズに行われており、これは患者さんにとっても非常に有益なことであると思っております。私はいつも初期研修医達に「医師である前に一社会人としての常識と責任感を持ち、患者さん中心で人の気持ちが判る医師、そして知識・技術に貪欲になれ」と言っております。私が思うに研修医たちがどのようなスタイルの医師になるかは、この2年間の初期研修期間に決まってしまうと思っております。来春卒業される医学生の方皆さん・・・全人的医療の習得のため、是非、我々の病院で研修してみませんか？また、平成23年9月からいよいよ新病院が開院いたします。初期臨床研修もより一層充実したものになるであろうと期待しております。金沢医科大学氷見市民病院での初期臨床研修をよろしく願いいたします。

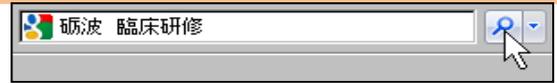




研修医からのメッセージ

氏名 坪本 真
出身大学 金沢大学

☆ホームページも
ご覧ください☆



皆さんこんにちは。研修医1年目の坪本と申します。

砺波総合病院ではどのような研修をしているのか紹介したいと思います。

4月には腎高血圧内科から研修をスタートしました。学生時代腎臓は苦手な分野でしたが、指導医の先生がお二人とも若く相談などしやすいし、研修の最初にはおすすめだということで選択しました。研修病院を選ぶにあたって気になることと言えば、救急はどんな感じなのかということと手技をどれだけやらせてもらえるのかということではないでしょうか。1年目の初めの頃は準夜帯の救急当直にはまだ入らず、秋頃から開始します。秋までは日中指導医の先生が呼ばれた時に一緒にいか、2年目の研修医の先生が当直の日に見せてもらうことが多いです。手技は透析センターで毎日穿刺をしたり、中心静脈カテーテルを入れさせてもらったりしました。なかなかうまく針を刺せないのに快く刺させてくださった患者さんには本当に感謝しています。またオーダーも自分で考えた内容を先生に相談しながら自由に入力できます。

私はこの病院で、5年生の冬に2日間、6年生の春に1ヵ月実習をさせてもらいましたが、学生に対してどの先生も丁寧に教えてくださったので、研修することを決めました。指導医だけでなくコメディカルの皆さんもわからないことがあれば何でも教えてください。‘百聞は一見に如かず’です。一度見学に来てみませんか。

レジデントレクチャーの紹介

春に研修医対象に計5回の救急外来に役立つ実践的なレジデントレクチャー(テーマ:外傷の初期診療、急性腹症、胸部関連救急疾患、静脈血栓塞栓症、頭部CT)を行いました。

7,8月には5回のレクチャー(脳外科救急疾患、整形外科救急疾患、腹部CT、人工呼吸器、急性血液浄化)が予定されています。秋以後も定期的に開催されますので、参加してみたい学生さんは下記までお気軽にご連絡下さい。心より歓迎いたします。

砺波総合病院では研修医向けに限らず大小さまざまな研修会、勉強会が頻繁に開催されています。学ぶ機会を十分に活用して視野の広い医療人の育成を目指しています。



レジデントレクチャーの様子

当院救急室の風景



★連絡先★

〒939-1395 富山県砺波市新富町1番61号
教育研修部 臨床研修科 担当 雄川(オガワ)
TEL:0763-32-3320 E-Mail:tgh.kensyu@gmail.com



研修医からのメッセージ



氏名 大浦 誠

3年目後期研修医(NANTO 家庭医養成プログラムで研修中)

出身大学 福井大学

趣味等 赤子を風呂に入れること(2011年5月6日に第1子誕生)

皆さんはじめまして！南砺市民病院総合診療科の大浦です。初期研修医2年を当院で過ごし、その雰囲気
の良さに3年目も残って現在に至ります。当院では県内でも珍しい『家庭医・総合医育成プログラム』というもの
があり、そこで総合医として必要な幅広い知識や、患者・家族への家庭医的なアプローチを習得できるように
日々精進しています。当院の初期研修を経験した数少ない経験者である私がこの病院の研修プログラムをお
勧めする理由は大きく3つ挙げられます。1つは指導医が総合医であり、いかなるプロブレムを持つ患者さんで
も総合的に診ることができるので、初期研修という基本を身につけなくてはならない時期にいいお手本となるという事です。2つ目は研修スタイル
が自由であり、その気になればマイナー科を1日おきにローテーションしたり、県外の診療所で泊りこんで研修したり、更には医師としての研修以外
に他職種の研修をしたりも出来ます。3つ目は・・・残念っ！紙面の都合上書けなくなりました。気になるあなたは是非病院見学で私に
聞いてみてください。見学期間中の宿泊・食事はもちろん無料！お待ちしております。



退院前多職種カンファレンスの1コマ

指導医のメッセージ

氏名 荒幡 昌久

南砺市民病院 内科・総合診療科医長

みなさん、初めまして m(。_。)m 初期臨床研修プログラム責任者の荒幡です。

当院は県西南部に位置する 180 床の公立病院です。救急、病棟診療を主体とする急性期医療から外来・訪問診療をはじめとする慢性期医療、さらには終末期医療までを一貫し、地域住民の生活を支えるための最前線の医療を展開しています。その中で、初期臨床研修医の先生方には、

- ①急性期医療を担える診断能力
- ②他職種と協調しあえる社会性・協調性
- ③チーム医療のリーダーとしての素養

を修得するための研修プログラムを実践していただいています。

研修医の指導は上級の医師だけでなく、看護師やリハビリスタッフ (PT/OT/ST)、検査技師、薬剤師はもちろん、事務員や患者・家族までも研修に協力していただき、病院全体で医師育成に取り組んでいます。



内科カンファレンス風景

◇ 指導医は少数精鋭で、指導に熱心な先生ばかりです！ ⇒ ヨシヨシ(^o^)/”(・_・;) アザッス

◇ 「百聞は一見に如かず」です。ぜひ一度、当院に見学に来てください!! ⇒ 国試対策にもなる!!

◇ まずは、病院ホームページへ!!! ⇒ <http://shiminhp.city.nanto.toyama.jp/>

レジナビフェアに参加しました

富山県では、7月3日（日）の大阪会場と7月17日（日）の東京会場において、「レジナビフェア2011」に参加しました。

当日は、たくさんの学生さんが来場されており、富山県ブースでも各病院の指導医・研修医が熱心に説明していました。今年度から富山県は大規模ブースで出展していますので、会場内で気づいてくださった方も多くいらっしゃったのではないのでしょうか。

富山県ブースを訪問してくださった皆さん、本当にありがとうございます！



一つの会場に多くの病院が集まる合同説明会では、複数病院について、研修プログラムを指導医から直接聞いたり、研修医の雰囲気を感じることができます。忙しい医学生の方にとって、効率的に情報収集ができる良い機会ですよね！

富山県では、夏に病院見学・交流会を行うセミナーを実施しているほか、春（3月頃）県内の臨床研修病院が集まるにも合同説明会を開催しています。

まだ少し先になりますが、日程が決まりましたらご案内しますので、ぜひ皆さんにご参加いただきたいと思います。

立山診療所を開設しました



富山県では、毎年夏期に立山室堂に診療所を開設しています。

登山者や観光客が怪我をしたり、体調が悪くなったときに医師が対応します。様々な症状の患者さんが来られるので、総合的な診療が求められます。

今年度は、平成23年7月16日（土）～平成23年8月19日（金）まで診療を行っています。診療時間は午前9時～午後4時30分です。

近年、『劔岳 点の記』や『岳』など、山を舞台にした映画が話題になりましたが、これらの作品をご覧になって登山に興味を持った方もいらっしゃると思います。夏は登山のベストシーズンですので、登山や地域医療に興味をお持ちの方は、夏休みを利用して立山に登ってみてはいかがでしょうか。ぜひ立山診療所をのぞいてみてください！

富山県立山診療所

開設場所：立山センター総合活動拠点施設内
（室堂ターミナルより徒歩約3分）

診療科目：内科、外科

連絡先：076-465-5765





e-residentへの掲載

臨床研修医情報サイト「e-resident」に富山県のページを掲載しています！

知事からのメッセージや富山県が主催する最新イベントのご案内、各臨床研修病院の照会など、皆さんのお役に立つ情報をたくさん載せていますので、ぜひご覧ください。

今後も、コンテンツを追加していきます！院長や研修医のインタビューを掲載予定です。

臨床研修徹底解剖！
e-resident 2012



キャッチコピーが決まりました！

このたび、富山県臨床研修病院連絡協議会のキャッチコピーが決まりました！

「人を診る力。研修は富山県！」です。富山県では、患者さん一人ひとりを総合的に診療できる「総合医」の育成に力を入れています。みなさんも、ぜひ富山県で「人を診る力」をつけてみませんか！

中心にいるのは、協議会キャラクターのDr.Raichoです。足元は立山の雪をイメージしています。



Dr.Raichoです！
よろしくお願いします！



メールマガジンの配信

富山県から、医学生の皆さんに「富山県医学生だより」というメールマガジンをお送りしています！

富山県が主催するイベントはもちろん、富山大学附属病院の専門医養成支援センターや卒後臨床研修センターからのお知らせなども配信中です。

最新情報をお届けしていますので、未登録の方は、ぜひご登録ください！！



メールマガジンをご希望の方は、下記までご連絡ください。

doctor-t@esp.pref.toyama.lg.jp